

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 感染性胃腸炎

定点当たり11.57人の報告があり、多い状況が続いています。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

定点当たり1.17人の報告があり、増加傾向です。主な症状は、水のような下痢、嘔吐(おうと)、発熱、腹痛です。特に、乳幼児は激しい症状が出ることが多く、注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

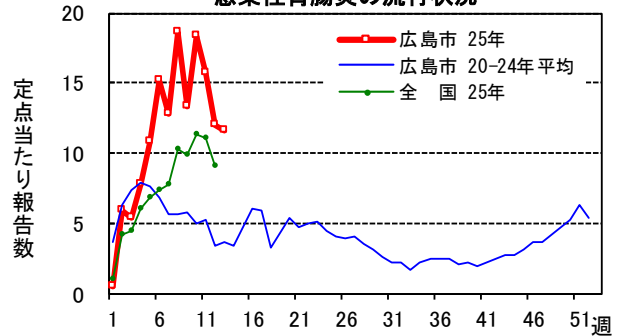
3 百日咳

7件の報告があり、今年の累計は48件となりました。(次ページ参照)

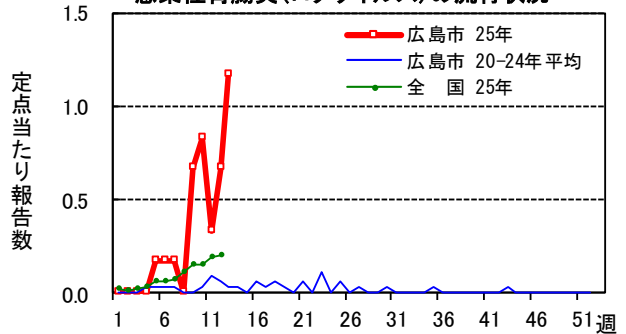
4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.33人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

感染性胃腸炎の流行状況



感染性胃腸炎(ロタウイルス)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	9	0.25	3.98	↓
	新型コロナ(COVID-19)	48	1.33		◇
小児科	RSウイルス感染症	19	0.83	0.39	↗
	咽頭結膜熱	10	0.43	0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.87	1.28	◇
	感染性胃腸炎	266	11.57	3.70	→
	水痘	3	0.13	0.13	
	手足口病	1	0.04	0.15	
	伝染性紅斑	11	0.48	0.04	
	突発性発しん	1	0.04	0.27	
	小児科				
眼科	ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
	流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	流行性角結膜炎	7	0.88	0.40	
基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	マイコプラズマ肺炎	5	0.83	0.06	
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1.17	0.03	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

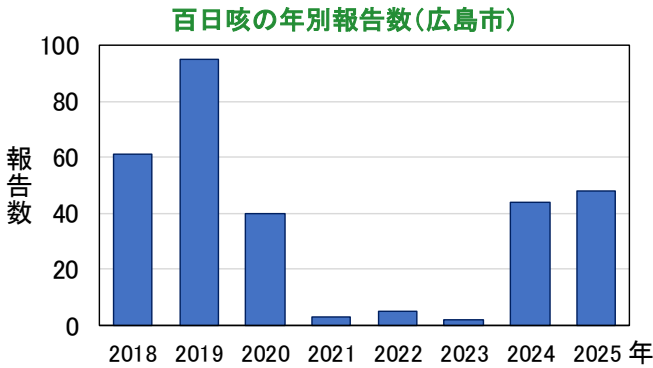
■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	28	80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	10歳未満・O157
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	70歳代
5	梅毒	4	34	20歳代・2人、30歳代・2人
5	百日咳	7	48	10歳未満・2人、10歳代・3人、30歳代・1人、60歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	(C O V I D - 1 9) 新型コロナウイルス	R S ウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
報告数	広島市	第9週	37	102	27	13	31	307	-	-	3	4	1	-	1	1	-	-	5	-	4
		第10週	36	70	29	3	44	424	-	-	6	6	-	-	-	12	-	-	4	-	5
		第11週	34	71	32	10	44	363	2	3	8	2	-	-	-	7	-	-	1	-	2
		第12週	33	61	30	9	54	276	3	-	6	4	-	-	-	7	-	-	6	-	4
		第13週	9	48	19	10	43	266	3	1	11	1	-	-	-	7	-	-	5	-	7
定点 当たり	広島市	第9週	1.03	2.83	1.17	0.57	1.35	13.35	-	-	0.13	0.17	0.04	-	0.13	0.13	-	-	0.83	-	0.67
		第10週	1.00	1.94	1.26	0.13	1.91	18.43	-	-	0.26	0.26	-	-	-	1.50	-	-	0.67	-	0.83
		第11週	0.94	1.97	1.39	0.43	1.91	15.78	0.09	0.13	0.35	0.09	-	-	-	0.88	-	-	0.17	-	0.33
		第12週	0.92	1.69	1.30	0.39	2.35	12.00	0.13	-	0.26	0.17	-	-	-	0.88	-	-	1.00	-	0.67
		第13週	0.25	1.33	0.83	0.43	1.87	11.57	0.13	0.04	0.48	0.04	-	-	-	0.88	-	-	0.83	-	1.17
	全国	第11週	2.23	3.84	1.48	0.28	2.33	11.11	0.27	0.05	0.81	0.21	0.01	0.04	0.06	0.90	0.01	0.03	0.29	-	0.19
		第12週	1.98	3.23	1.18	0.26	1.96	9.04	0.32	0.04	0.67	0.18	0.01	0.03	0.08	0.83	0.02	0.03	0.27	0.01	0.20

【参考】百日咳について



百日咳の今年の累計報告数が48件となりました。既に昨年(2024年)の44件を上回り、2018年に全数把握疾患となってから3番目に多い水準です。

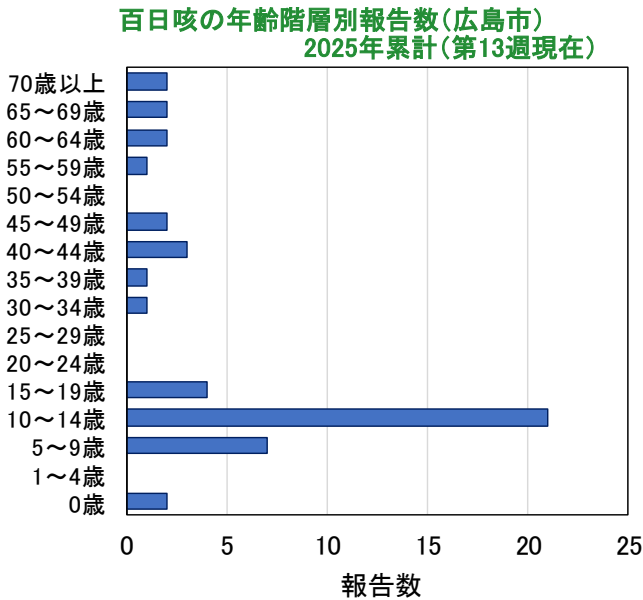
百日咳は、百日咳菌によって起こる急性の気道感染症で、感染経路は飛沫感染と接触感染です。患者は小児が中心ですが、いずれの年齢でもかかります。

7～10日程度の潜伏期間を経て、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。短い咳が連続的に起こり、息を吸う時に笛のような音が出る発作性の咳となり、しばしば嘔吐を伴います。

成人の場合は、咳が長期にわたって持続しますが、典型的な症状を示すことが少なく百日咳とわかりにくいので、周囲に感染を広げてしまうことがあり、注意が必要です。

肺炎や脳症などを合併することもあり、1歳以下の乳児、特に生後6か月未満の乳児は重症化のリスクが高く、注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

【参考】
百日咳(国立健康危機管理研究機構)
<https://id-infojihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/pertussis.html>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp